令和5年度第2回城東区教育会議 議事要旨

日時	令和6年3月15日(金)19時～20時30分	場所	城東区役所3階311・312会議室
----	------------------------	----	-------------------

出席者	教育会議委員、区内小中学校幹事校長 城東区長、城東区副区長、子育て教育担当課長、子育て教育担当課長代理
-----	--

内 容

報 告	<p>[主な意見] ○:委員、●:区役所、オブザーバ</p> <p>【令和5年度区事業の進捗状況について】</p> <p>●(オブザーバ)当校では今年度10月からスクールサポートルーム(SSR)を開設したが、非常にありがたい取組みであり、開設以降毎日SSRに来て給食も毎日食べるようになった生徒がいる。まだ教室に行くには至っていないが学校に来ているということが大事なので学校として見守っていきたい。ただ、SSRに教員等を配置するのが難しいこともあるため、生徒に対応できるスタッフを配置いただければ各学校もより助かると思う。</p> <p>○SSRについて、利用日数や利用人数が増えてきているとのことで、中学校は6校すべて整備されたとのことだが、小学校に整備しようとしても、児童数が多く教室が確保できないといった場合もあると思われる。同じ中学校区内で別の小学校にあるSSRを利用できるといったことは検討できないのか。また、各学校のスクールカウンセラーによって不登校傾向にある児童生徒に個別の教室で対応している場合もあると聞くが、このSSRの取組みとの違いはあるか。</p> <p>⇒●通学や校内での安全管理の問題もあり、他の小学校を利用できるようにするといったことは想定していない。各小学校において教室の余裕がない場合は、例えば特別教室などを一時的に利用する場合に個室的な空間を作るためのパーティション等、居場所づくりの目的に見合う物品の購入について検討することになっている。</p> <p>また、SSRはあくまで場所の整備を目的に行っているものであり、その場所において、教員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと生徒との面談に使っていただいている事例もあると聞いている。生徒にとって落ち着く空間を提供し、学校に有効に運用してもらおうよう取り組んでいる。</p> <p>○SSRについて今年度は中学校を整備されたとのことだが、中学校と小学校とは環境も児童生徒の状況も大きく異なるので、小学校でも中学校のような成果が表れるよう、戦略的に取り組んでいただきたい。</p> <p>⇒●中学校、小学校それぞれの現場の意見をふまえ、実情に応じた支援事業の拡充し、柔軟に活用できるよう取り組んでいく。</p> <p>○いじめ撲滅サミットについて、サミットでの成果や学んだことについて、生徒たちが各中学校で持ち帰って報告などされているのか。</p> <p>⇒●具体的な方法は任せているものの、出席等協力依頼をする際に、サミットで気づいたことやいじめについて、各学校においても引き続き生徒と先生とで考えていただき、学校間で横展開をしてもらいたい旨お願いしている。</p> <p>○いじめ撲滅サミットの様子は区広報誌「ふれあい城東」でも見せていただき良い取組みだと感じた。一方、報道では中学生が大学生をSNSで騙し事故で死なせるといった痛ましい事件があった。先日出席した中学校卒業式での立派な生徒たちを見ていると同じ中学生とは思えず、どのように関わっていけばよいか、他人事とは思えず理解しがたい。学校も区役所も協力して、少しでもあいつた事件が起こらないように努めていただきたいと願う。</p> <p>⇒●(区長)サミット開催にあたって各中学校に訪問しながら生徒と意見交換をしたが、中学生自ら</p>
-----	---

	<p>SNS に対する危機感や危険性については理解している印象がある。</p> <p>ただ生徒たちは家に帰ってから、もしくは休日に SNS を使用しており、学校、教員の目の行き届く範囲での指導というのは限界があり、家庭でも具体的に SNS の使い方や危険性を知っていただくことが重要。生徒との意見交換でも、SNS でのいじめというのはより陰湿になるといった声もあった。</p> <p>学校や行政としても、スマホや SNS の正しい使い方について、問題意識をもって引き続き保護者の方々へ根気強く啓発していく必要性を感じている。</p> <p>●(オブザーバ)なぜああいう事件が起こったのか、救ってあげられなかったのかと、痛ましくとらえている。学校現場に携わる者にとって永遠の課題であるだろうが、まずは保護者とつながっておく、道を踏み外しそうな生徒を1人でも少なくするといったことは全ての学校で地道な努力を続けていると思う。</p> <p>そういった中でも、痛ましい事件は起こってしまう、区長の意見にもあったが、引き続き啓発していくことも重要だし、学校に関わる者一人ひとりが安全を意識して教育活動を実践していくしかないと思う。</p> <p>【教育環境の充実に向けた区内学校園の取組み事例の集約発信について】 (意見なし)</p>
議 題	<p>[主な意見] ○:委員、●:区役所、オブザーバ</p> <p>【令和6年度運営方針(案)及び関連予算(案)について】</p> <p>【令和6年度不登校支援事業について】</p> <p>○いじめ・不登校対策については充実した予算(案)になっていると思うが、学力向上については夜間学習会(JOTO 塾)の予算がメインとの理解でよいか。</p> <p>⇒●区の予算事業として示しているものはそうであるが、教育委員会事務局により市全体で塾代助成等学力向上を目的とするさまざまな施策を実施している。また、不登校が起因で学力に不安がある生徒、また授業についていけず不登校となる生徒もおり、区の不登校対策事業も学力向上につながるものと考えている。</p> <p>○現在 JOTO 塾は区内2ヶ所での実施だが、例えば全ての学校で生徒が 18:30 くらいまで残って、先生も派遣されて夜間学習が実施できるような取組みがあれば学力向上に向けて勉強できるのではと一つの案として思う。</p> <p>○塾代助成は月額1万円というのは非常に少ないと思う。スポーツ教室等の相場は月1万円かもしれないが塾に行くと同額の年間相当の額がかかる。塾に行かせたいのであればもう少し金額を上げていかないと、塾よりもスポーツ教室等に使う家庭の方が多いのではないかと。授業についていけず不登校といった話もあったが、学校の授業が簡単すぎてつまらないといった理由で学校に行かない生徒もいる。そういった生徒にも支援できるよう、塾代助成は拡充すべきだと思う。</p> <p>○私立中学校には授業料無償化がない。いろいろ意見はあるだろうが、公立の学校が合わない生徒の合う学校に行かせたい保護者のためにも就学に向けた支援を充実したらいいのではと思う。</p> <p>⇒●高校の授業料無償化については府の事業であり府内に限らず対象となる高校を拡大しようとする動きがある。小・中学校といった義務教育の段階における私立校の授業料無償化について検討しているといった動きは聞いていないものの、ご意見として局に伝えていく。</p> <p>○教職員人材バンクについて資料にある予算の一覧に出ていないのでどのような取組みなのかが見えてこない。教職員の負担軽減につながる取組みとして重要だと思うのだが。</p> <p>⇒●教職員人材バンクについては予算措置されている取組みではないのでそちらの資料にはない。城東区で広報誌等を活用し、「城東区内の学校で働きませんか」と募集し、応募された方の情報を学校に提供し、必要が生じた学校において直接面談いただき採用いただくといった取組み。すぐに働き</p>

	<p>方改革に繋がるものではないかもしれないが、スタッフの補充により少しでも負担軽減につながるよう取り組んでいる。</p> <p>⇒○学校の意見等をふまえて、改善しながら取り組んでいただきたい。</p> <p>○学力向上よりもいじめ・不登校対策にウエイトを置かれているように見える。資料にあるが、大阪府は全国平均よりいじめが多く見えるが。自治体によっていじめや暴力のとらえ方が違うのか。またウエイトがあるということは城東区において、いじめ・不登校が市平均より多いということか。多いからこそ施策に力を入れていかないといけないということか。</p> <p>⇒●暴力行為は子ども同士であっても子どもと大人であっても、発生すれば1件と数えることになるが、いじめについては、本市では「何か嫌なことをされた」といった児童生徒自身が思うことがあれば、大人からは些細な出来事に見えても、全て1件とカウントしている。把握した時点で教員は家庭と連携しつつ早期解決に取り組まれているということである。タブレットに入力も可能なことで、すぐにいじめにつながる事象を把握できるといった意味では進んでいるともいえると思う。城東区についてどうかは公表されている数字では示されていないが、この数字で反映している30日以上長期休暇に至らないように事前に防ぐ、不登校の傾向があれば早期に対応することを焦点におき取り組んでいる。</p> <p>●(オブザーバ)いじめの認知件数が他の自治体よりも上がっているのは、法律上の「一定の人間関係があって心理的な影響を与える行為で、相手の児童が心身の苦痛を感じているもの」という定義を本市では厳密にとっているため、すこしでも相手が嫌な気持ちになったら数えているところがあり増えている面もある。ただ、城東区スクールロイヤーの研修でもあったが、いじめとして認知するものと、実際にいじめとして指導するものには差異がある。相手の気持ちに立って行動するといった指導など、切り離して考えた方が良いと思う。</p> <p>●(区長)市全体の24区比較は教育委員会事務局でも公表はしていないものの、決して城東区が極端に高い、低いということはない。不登校が多いから施策に力を入れているのかとのご質問だが、決してそういうことではない。不登校対策については力を入れているのは本市としても城東区としても事実であるが、不登校対策に積極的であるのは対処療法的に不登校が多いから対応しているのではなく、まず子どもたちに学校という集団生活で得られる経験に向き合ってもらうことが重要と考え取り組んでいるものであるので、ご安心いただきたい。</p> <p>○不登校の中に外出はできないがタブレット越しなら授業を受けることができるといった児童生徒もいると聞くので、不登校対策の中でもリモート対応に取り組んでいただければと思う。</p> <p>⇒●JOTO ふらっと教室で家庭訪問に抵抗がある児童生徒についてはリモートでの対応も個別で実施している。ただ、学校含め外に出てもらうことでさまざまな人と出会い、つながりから安心感や家庭以外の居場所を見つけていただきたいといった趣旨で事業を実施しているのでリモートによる支援をあえて柱として記載はしていない。</p>
資料	<p>【資料1】スクールサポートルーム(SSR)の取組み状況について</p> <p>【資料2】第3回城東区いじめ撲滅サミット</p> <p>【資料3】令和5年度城東区教育・子育て支援関係事業一覧</p> <p>【資料4】教育環境の充実に向けた区内学校園の取組み事例の集約発信について(今後の取組み予定)</p> <p>【資料5】令和6年度城東区運営方針 主な具体的取組み(案)(抜粋)</p> <p>【資料6】令和6年度城東区関連予算 事業概要(抜粋)</p> <p>【資料7】城東区不登校児童生徒等への支援対策について</p> <p>【資料8】不登校児童生徒支援事業(JOTOふらっと教室)の支援状況について</p> <p>【資料9】(参考)令和4年度大阪市立学校における暴力行為・いじめ認知・不登校数</p>